

横浜市で初めて！！

「お試し居住@金沢区」を実施します！

～金沢臨海部産業団地と金沢シーサイドタウンの職住近接を推進～

金沢区では、金沢臨海部産業団地※1など、企業の人材確保が課題となる中で、従業員の働きやすい環境が求められています。一方で、金沢区は人口減少、少子高齢化が進展し、住宅地をはじめとするまちの活性化は大きな課題であり、「住む」から「住む」「活動する」「働く」住宅地にしていくことが重要です。

このたび、金沢臨海部産業団地の職住近接の取組として、横浜市住宅供給公社と連携して、「お試し居住@金沢区」を実施します。

産業団地で働く方に、隣接する金沢シーサイドタウン※2に約1か月間実際に住んでいただくことで、職住近接の利点や金沢区の魅力を知り、金沢区への定住促進やシーサイドタウンエリアの人口の健全な流入・定着を図っていきます。



実施概要

実施期間：平成 29 年 11 月 12 日（日）～12 月 9 日（土）

場所：シーブリーズ金沢
(金沢区柴町 365-2、横浜市住宅供給公社管理)

間取り：3DK (62.29㎡)

対象者：金沢臨海部産業団地に勤務している従業員及びその家族

実施数：1～2部屋

9月に当エリアの企業及び従業員に対して募集を行いました。

●設備

実施期間中、最低限の生活に必要な家具、家電（冷蔵庫・洗濯機・炊飯器・テレビ・エアコン等）、寝具を用意しています。

その他、着替えや寝間着、タオル類、化粧品等の生活必需品などは参加者に持参していただきます。

●その他

お試し居住後は、参加者へインタビューを行い、昨年度、金沢臨海部産業団地の企業や従業員へ実施した職住近接に関するアンケート※3の結果と合わせて、今後の職住近接の取組検討に活用していきます。



参加者は、お試し居住後、改めて横浜市住宅供給公社と契約し、正式に居住することが可能です。

裏面あり

※1 金沢臨海部産業団地

1960年代から住工混在などの解消を目的に埋め立てられた、産業集積エリア。1,000を超える企業・事業所が立地している。特徴として、製造業、卸・小売業、運輸・物流業を中心に主に中小企業が多く集まっており、特定の分野で高いシェアを持つ企業なども多い。

※2 金沢シーサイドタウン

横浜市の6大事業のうちの1つである金沢地先埋立事業と合わせて造成され、榎文彦氏をはじめとする建築家が計画に参画。1978年から1983年にかけて各団地で居住を開始。

※3 職住近接アンケート

金沢臨海部産業団地に勤務する従業員の居住地及び社宅等の保有状況・意向並びに従業員の住まい・通勤に関する意識及び金沢シーサイドタウンへのイメージを調査。金沢臨海部産業団地と金沢シーサイドタウンの職住近接を推進することを目的として、29年2月から3月にかけて実施したアンケート。



報道機関の方へ・・・

実際に住まれる部屋をご覧いただくことも可能です。取材をご希望の方は 11月10日(金)までに金沢区区政推進課までご連絡ください。

お問合せ先

- ◆本取組について
金沢区区政推進課長 伊倉 久美子 Tel 045-788-7720
- ◆持続可能な郊外住宅地モデルの構築・推進について
建築局住宅再生課長 鈴木 陽子 Tel 045-671-4458
- ◆住宅について
横浜市住宅供給公社街づくり事業課長 太田 祐輔 Tel 045-451-7821